

# 情 報 公 開 文 書

研究の名称	事業所健診受診者における心不全病期 stage A の頻度および心不全リスクの検討
整理番号	R2019028
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学 第一内科
研究責任者	富山大学附属病院 第一内科 講師 八木 邦公
研究の概要	<p>【研究対象者】 西暦 2014 年 10 月から 2 ヶ月の間に一般財団法人 北陸予防医学協会にて健診を受診した症例 800 例（男性 400 例、女性 400 例）</p> <p>【研究の目的・意義】 事業所健診受診者における心不全病期 stage A 該当例の頻度および顕性心不全発症リスクについて検討すること。 構造的な疾患や心不全発症をきたしてはいないが心不全リスクが高いと考えられる心不全病期の stage A の中で心不全発症につながりうる心負荷所見を呈しながら無自覚で放置されている例は極めて多いものと推測される。これは、将来的には社会問題ともなりうる潜在的リスクである。しかしながらその実態についての検討はこれまで十分にはなされていない。</p> <p>【研究の方法】 事業所健診受診者で心不全病期 stage A に該当する者がどれだけいるか、その中で心電図所見を有する例がどれだけ存在するか、背景因子についても検討する。</p> <p>【研究期間】 2019 年 8 月 6 日～2021 年 9 月 30 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究成果は循環器、糖尿病、代謝に関連した学会、医学雑誌にて結果を発表する。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>健診記録の情報を利用する。他機関への提供はない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体および危険因子毎に群分けしての主要評価項目および副次的評価項目の発症率を検討する</li> <li>・主要評価項目および副次的評価項目のイベントのあった群と無かった群との間での臨床指標毎の差異の検定（Student's t-test、Mann-Whitney U test）を行う</li> <li>・主要評価項目および副次的評価項目のイベント発症とその原因について研究開始時の検査結果との相関解析を行う</li> </ul>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学学術研究部医学系内科学(1)・教授・戸邊一之
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 第一内科 講師 八木 邦公
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>個人情報に関する苦情及び個人情報の取り扱いに関する相談、研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）等については下記の窓口で対応いたします。</p> <p>一般財団法人北陸予防医学協会 業務渉外課 電話 076-436-1238 FAX 076-436-1240</p> <p>研究全般および、研究資料の開示希望の申し出については下記の被験者相談対応者が対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7287 FAX 076-434-2025 担当者所属・氏名 附属病院 第一内科・医員・瀧川章子</p>